



市史へんさん

第255号

令和2年6月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

緊急事態宣言も解除され、ようやく公共施設が開館の運びとなりました。このコロナ禍の影響で、各種の行事が中止となっておりますが、『考古編』の編集作業は順調に進み、皆様のお手元に届けられるのも、間もなくです。

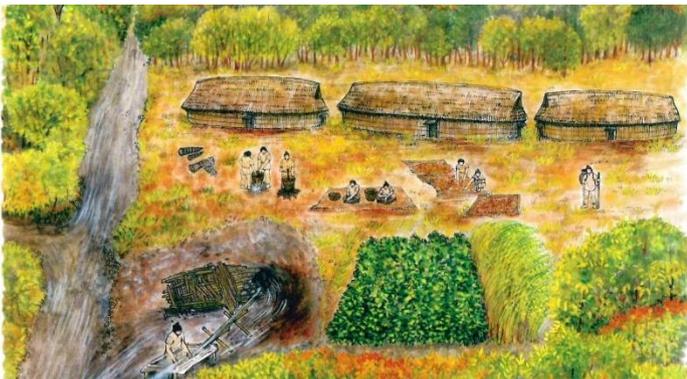
そこで、今回は、本編の一端をご紹介します。今回、各章のイメージを想起させる章扉には、これまでの写真からイラストに替えて、太古の世界を遺跡や遺物から、その自然環境も想定して、当時の様子を再現しました。ご覧になった暁には、この描写を念頭に、各章に紹介される遺跡の詳細を知っていただけたらと思います。



第1章「歴史の舞台」



第2章「遺跡の歩み」



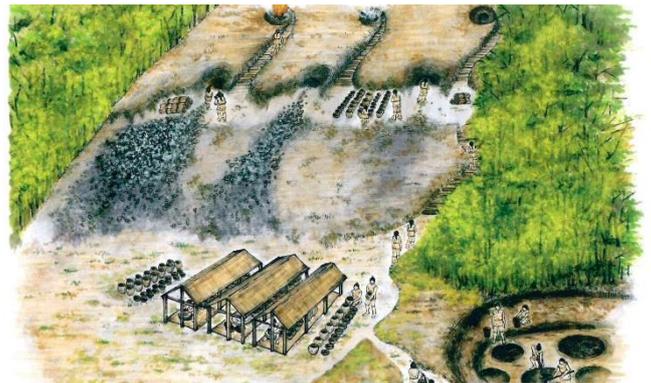
第3章「狩猟と漁撈・採集」



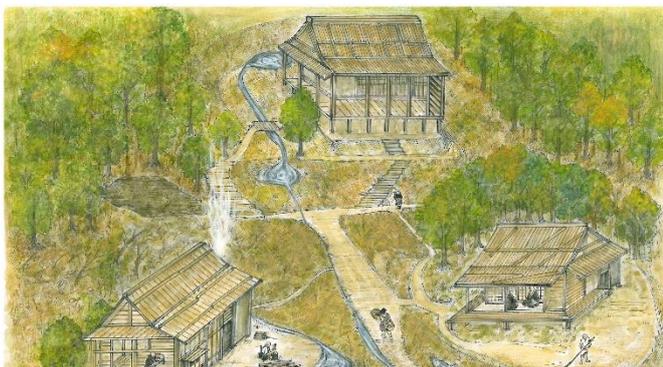
第4章「稲作社会の到来」



第5章「前方後円墳の時代」



第6章「律令と地方支配」



第7章「武士の世へ」



第8章「太平の世へ」

市制 80 周年記念『写真でふりかえる小松市～生まれ変わった施設～』



小松市公会堂の地は、かつて、明治末期に竣工した能美郡自治館が建っており、昭和 26 年(1951)に市役所新庁舎(右写真左の建物)の落成に伴い、博物館として再活用が望まれ、現在の地に曳家されて昭和 33 年にオープンした(現建物は昭和 45 年に新築)。

その跡地に、現公会堂が、翌年に誕生。戦後の混乱が続く、物資にこと欠くこの時期に、一地方都市に過ぎない小松市が、固定席 1150 席(現在 1078 席)の多目的ホールや大会議室、結婚式場を備える文化施設を建てたことは、奇跡に近いことであった。それだけ市民への奉仕と市制発展に対する並々ならぬ意気込みが感じ取れる。



「旧能美郡自治館(1956)」(小松市立博物館蔵)



「開館時の小松市公会堂(1959)」

当時の公会堂は、ホール・会議室等の貸館だけでなく、結婚式場の機能も兼ね備え、式服等の貸衣装、化粧も扱っていた。披露宴会場も備わり、下階にあるグリルから料理を提供していた。第 1 回目の挙式は 5 月 21 日に行われ、和田伝四郎市長も列席した。その後、ブライダル産業が全盛となり、式に豪華さを求める時代の風潮もあって、昭和 56 年に幕を閉じた。

もう一つの特徴として、平成 27 年に塔屋が取り除かれるまで、塔上には昭和 35 年にライオンズクラブから寄贈された「愛の鐘」が設けられ、定時に時報のメロディーが流されていた。設置当初は、7・18・22 時の 3 回、ロンドン橋、アンニーローリー、チゴイネルワイゼンが流れていた。その後、9・12・15・18・21 時の 5 回となり、曲目も変更されている。



＜事務局 5 月の活動状況＞

- ・ 5 月 12・15 日 八日市地方遺跡報告書調査
- ・ 5 月 12 日(火) 災害(水害)関係資料調査
- ・ 5 月 14・15 日 社会福祉協議会資料調査



＜事務局 6 月の活動予定＞

- ☆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため近現代・通史部会は中止。調査は、事務局での資料調査のみ。

＜6月のカレンダー＞ 開室時間 10:00～12:30/14:00～16:00 (火～土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5/31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	7/1	7/2	7/3	7/4

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間で、御用のある方は、9時から17時まで受け付けますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2 階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

